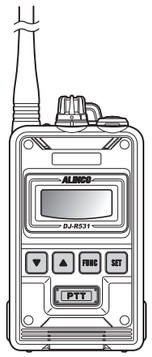
ALINCO

PS1187A
FNFJ-NI

1.9GHz帯 DECT方式 9者間同時通話システム
総務省技術基準適合品
Bluetooth Module XE1126 内蔵

DJ-R531P(親機、シルバー)
DJ-R531(子機、ブラック)
簡易取扱説明書



注意 本機の使用には別売のバッテリーパックと充電器または乾電池ケース、イヤホン・イヤホンマイク・ヘッドセットが必要です。用途に合わせてお求めください。詳しくは裏面の「オプション一覧」をご覧ください。

アルインコの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機は免許、資格が不要の同時通話機です。日本国内なら誰でも用途を問わず、各種通信にお使いいただけます。本機の性能を十分に発揮させるために、この取扱説明書を最後までお読みいただくようお願いいたします。アフターサービスなどについても記載していますので、この取扱説明書は必ず保管してください。また補足シートや正誤表などが入っている場合は取扱説明書とあわせて保管してください。

アルインコ株式会社 電子事業部

大阪本社 / 電子サービスセンター :
〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 4-4-9 淀屋橋ダイビル 13F / TEL 06-7636-2222

無線・電源機器のアフターサービスに関する情報はアルインコ
電子事業部HP https://alinco-denshi.com/
「サポート情報」をご覧ください。

Copyright Alinco,Inc.

使用前のご注意

別紙の「安全上のご注意」を必ずお読みください。本書に記載していない重要な安全上、使用上の注意点と免責事項について説明しています。

■ ご使用環境
高温、多湿、直射日光が当たり短時間でも危険温度になるところは避けてご使用ください。

■ 分解しないで
分解したり内部を開けたりすることは絶対にしないでください。
総務省技術適合品を分解、改造することは法律でかたく禁じられています。

■ 使用禁止場所
無線機器の使用が制限される場所では事前に管理者の許可を得てください。
例：空港敷地内、公共交通機関内、医療・高齢者施設など
航空機内など電子機器の使用が制限された時は速やかに指示に従ってください。
本機は1.9GHz家庭用デジタルコードレス電話と同じジャンルの電波を使用します。

本機は日本国内専用モデルです。海外では使用できません。
This product is intended for use only in Japan.

■ 通信距離の目安（ 親機-子機間の距離）
● 河川敷など障害物がない平地 ：300m 程度 ● 市街地：100m 程度
● 高い建物や障害物が少ない場所 ：150m 程度
● 建屋内：構造や建材、設置された造作物の有無などで大きく変わります。

注意 トンネルのような閉鎖空間では電波伝搬の特性により近距離でも通話できないことがあります。

■ DECT通信方式による電波干渉について
本機は1.9GHz 帯で通信を行います。以下についてご注意ください。
●本機はデジタルコードレス電話（PHS/J-DECT）の自営用の周波数を使用しているため、コードレス電話、構内電話、公衆PHS等の影響を受けるエリアで通信できない場合があります。

■ Bluetoothについて
別売の Bluetoothオプションをお使いになるときは必ずお読みください。
●本機に内蔵している Bluetooth Module（XE1126）は総務省技術適合品です。分解、改造することは法律でかたく禁じられています。
●電子レンジの近くで使うと電磁波の影響で通話できなくなることがあります。妨害を受けたときは電子レンジから離れてください。

■Bluetooth機能による電波干渉について
本機のBluetooth機能を使用するときは、以下についてご注意ください。
Bluetoothに使用される2.4GHz 帯では、電子レンジなどの産業、科学、医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局が運用されています。
●本機のBluetooth機能を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、2.4GHz 帯のアマチュア無線局などが運用されていないことをご確認ください。
●万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、Bluetooth機能をオフにしてください。
●その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターにご相談ください。

■ 本機のBluetooth機能の制限について
市販のBluetoothワイヤレスマイクも原則使用できますが、特定の製品を個別に動作検証することはできません。弊社純正品以外のマイクは動作保証の対象外です。

Bluetoothの登録商標 / 著作権について
Bluetoothのワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アルインコ株式会社はこれらのライセンスに基づいて使用しています。
なお、本文中ではTM、® などのマークを省略しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複写/ 転用することは、禁止されています。

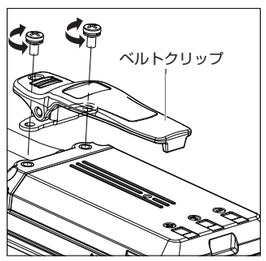
付属品の取付け方

付属品をご確認ください。
□ベルトクリップ（装着済）：EBC-46(ネジ 2本付)
□簡易取扱説明書（本紙）：1枚 □注意文：1枚 □保証書

注意
・保証書にご購入の日付が記載されていないときは領収書やレシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。
本機の保証は、本機と付属品だけに適用されます。
・弊社純正、または弊社が認めたアクセサリー以外をご使用になって起きた不具合は保証期間の有無を問わず有償修理になります。他の無線機メーカー製オプション品が使えるかどうかは検証していません。他社製アクセサリーに関する事は、直接その製品のメーカーにお問い合わせください。

ベルトクリップの取付け/取外し……

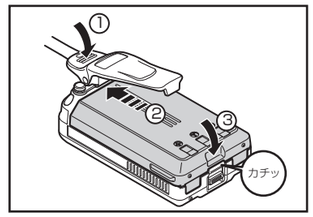
ベルトクリップは取付けた状態で梱包されています。ベルトクリップを外すときはドライバーでネジを反時計方向に回して外してください。
(+ ドライバー No.2 が必要です)
定期的に、ネジにゆるみがないか点検してください。
取付け後は本機を体の横や腰などに固定してください。また有線式オプションのケーブルは引っかからないように余分な長さを束ねてください。



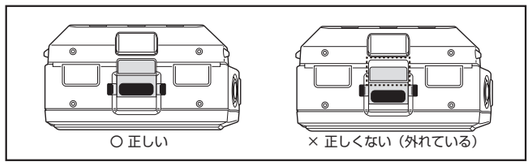
注意 標準付属品以外のネジを使うと本機が破損しますので絶対に規格以外のネジは使わないでください。

別売 バッテリーパック（以下 バッテリー）の取付け/取外し…

●バッテリーの取付け方
①のようにクリップを押してフック部を上げます。バッテリーを図のように本機の背面に当て、②の矢印の方向に、③のロックレバーがカチッと音が鳴るまでしっかりと押して固定します。下図のようにロックレバー先端がバッテリーをしっかり固定していることを確認してください。防水仕様のためロックレバーの固定が硬くなっています。正しく装着しないと接触不良で動作せず、バッテリーの落下による故障の可能性があります。



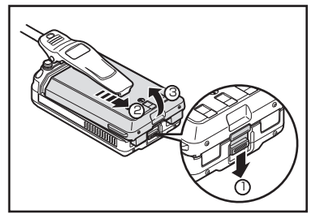
※パッキンにホコリのような異物が付着していると、防水性が低下します。



注意 本機背面の機種名などを記載した銘板の上にある2つの丸い凹みを触ったり、上にラベル類を貼ったりしないでください。防水性を保つのに重要なものです。

●バッテリーの取外し方
ロックレバーを①の方向に押し下げロックを外したら②の方向にバッテリーをスライドさせて、③のように引き抜いて外します。

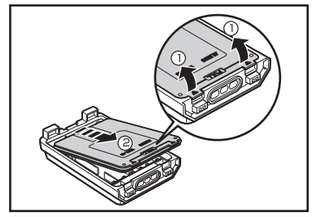
注意 バッテリーをスライドさせる際は、指やツメなどを傷めないよう注意してください。



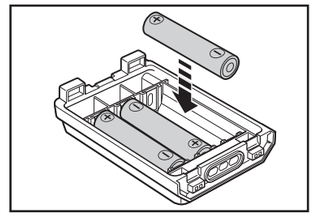
別売 乾電池ケース（以下 ケース）の使い方……

注意 使用しないときは乾電池を抜いてください。乾電池が放電すると液漏れを起こしてケースが故障します。

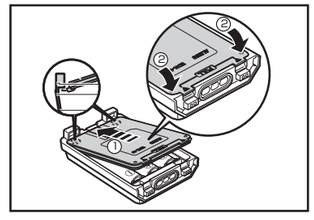
●カバーの取外し方
カバー上側①の凸部に指先をかけて開き、矢印②の方向へ引き抜きます。



●乾電池の取付け方
市販の単三形アルカリ乾電池3本を図のように⊕⊖の表示に注意して取付けます。ブランド違いや新旧の電池を混ぜて使うと発熱、液漏れなどで故障の原因となります。



●カバーの取付け方と使い方
取外した時とは逆にカバーの凸部を①の方向にケース下部に挿しこみ、反対側の先端を②の方向にしっかり止まるまでゆっくりケースに押し込みます。パッキンがはみださないようにご注意ください。パッキンにホコリのような異物が付着していると、防水性が低下します。無線機への取付けと取外しはバッテリーと同じです。



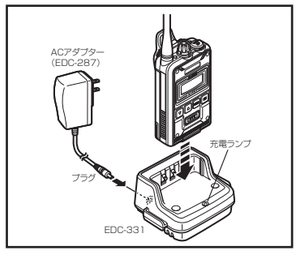
注意
●リチウム乾電池は絶対に使用しないでください。初期電圧が高く、内部の電子部品を壊す可能性があります。必ず信頼できるブランドのアルカリ単三乾電池3本をお使いください。マンガン乾電池やニッケル水素充電池の使用は動作保証できません。
●直射日光があたる場所、空調機や火の近くなど温度が高くなる場所には絶対に放置しないでください。真冬でも閉め切った車内や窓際は日光が当たると危険です。変形、変色のほか液漏れ、発熱、破裂の可能性があります。

別売 充電器

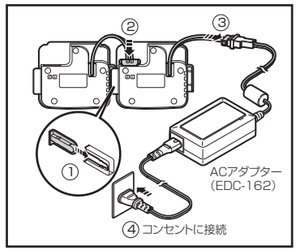
別売オプションの充電器を使用してバッテリーを充電する方法を説明します。

●シングル充電器 ：EDC-331A(ACアダプター EDC-287 付属)
●シングル連結充電スタンド：EDC-331R(ACアダプター EDC-162 別売専用)

シングル充電（充電時間：約 3.5 時間）
①付属のACアダプターを充電器背面にある電源端子に接続します。
②ACアダプターをAC100Vコンセントに接続します。
③本機を充電器のポケットに挿入します。充電が始まると充電ランプが赤点灯し、充電が完了すると緑点灯します。
④バッテリー単体でも充電できます。



連結充電（充電時間：約 3.5 時間）
最大 5 台まで充電できます。連結には専用の別売 ACアダプターが必要です。
①充電器の連結ツメ同士をカチッと音が鳴るまでスライドさせて接続します。
②片側の連結プラグを番号の向きに注意しながらカチッと音が鳴るまで接続します。
③別売のACアダプターを充電器の連結プラグに接続します。
④ACアダプターをAC100Vコンセントに接続します。
⑤本機を充電器のポケットに挿入します。充電が始まると充電ランプが赤点灯し、充電が完了すると緑点灯します。
⑥バッテリー単体でも連結充電できます。



注意
●充電するときは本機の電源を必ず切ってください。電源を入れたまま充電すると正しく満充電が検知できず、充電ランプが緑点灯しません。またバッテリーにも負担がかかるため、推奨する充電方法ではありません。
●バッテリーをお買い上げいただいたとき、または長期間使用しなかったときは満充電してからお使いください。
●別売の充電スタンドと AC アダプターを除く、指定外の製品を接続すると事故や火災の原因となります。絶対におやめください。
●本機および充電器の端子はときどき点検し汚れを取り除いてください。汚れていると接触不良により、正常に充電できないことがあります。

注意 温度が＋10℃～＋40℃の範囲外では、充電ランプが赤緑に交互点灯して充電できない場合があります。バッテリー内蔵の安全装置が動作するためで、既定の温度範囲内で充電を再開してください。

バッテリーの使用上の注意

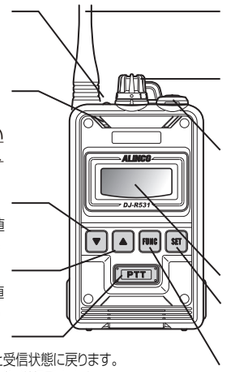
次の注意事項を守らないと、発火や発煙の原因となります。

●季節、温度に関わらずバッテリーを車内や窓際など直射日光が当たる場所やヒーター類の近くなど高温となる場所には絶対に放置しないでください。
●指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、直ちに充電を中止してください。
●バッテリーは消耗品です。充電回数は300 回～ 500 回が目安です。充電状況を定期的に確認してください。いつもより発熱している、膨張など異常があると思われたときは、すぐにバッテリーを交換してください。
●劣化したバッテリーは使用しないでください。本機の性能を十分に活用するためにも、3 年を目安、長くても5 年以内に交換してください。
●固い床に落としたり、壁にぶつけたりなどでバッテリーに強い衝撃を与えたときは新品に交換してください。電池内部に小さな傷ができると、それが発火や発煙の原因になります。

注意
●バッテリーは出荷時には十分に充電されておりません。お買い上げ後に満充電してからご使用ください。
●充電は＋10℃～＋40℃の温度範囲内で行ってください。
●バッテリーの改造、分解、火中・水中への投入は絶対にしないでください。発熱・破裂などの可能性もあり、大変危険です。
●バッテリーの端子は絶対にショートさせないでください。機器の損傷やバッテリーの発熱による火傷の原因となることがあります。
●必要以上の長時間の充電(過充電) はバッテリーの性能を低下させますのでおやめください。
●バッテリーの保存は、－10℃～＋45℃の温度範囲で湿度が低く乾燥した場所を選んでください。それ以外の温度や極端に湿度の高い所では、バッテリーの液漏れや、金属部分の錆の原因になりますので避けてください。
●バッテリーの長期保管には50%程度の充電状態が推奨されています。長期保管するときもときどき充電して、短時間でも本機を使用するのが無線機・バッテリー両方に最良の保管方法です。
●バッテリーは消耗品です。所定の時間充電しても使用時間が著しく短い場合は寿命がつきたものと思われます。新しいものにお取替えください。
●バッテリーは事業ゴミです。電池処理の許可を得た産廃業者に委託するか、処理施設へ直接お持ち込みください。

各部の名前とはたらき

前面部 ※オプション類を接続すると本機側のPTTキーとマイクは自動で無効になります。設定でこの動作を変えることもできます。



LED
光り方と状態については後述の「LED表示について」をご確認ください。

マイク
送信するときに話します。
※ラベルなどでふさがないでください。声を拾わなくなります。

▼(ダウン)キー
降順にセットモードの設定値を変更するときに押します。

▲(アップ)キー
昇順にセットモードの設定値を変更するときに押します。

PTT(送信)キー
押すと送信します。再度押すと受信状態に戻ります。
設定を変えると押している間だけ送信できます。

アンテナ
アンテナは外れません。柔らかい素材なので多少曲がります。

電源/音量ツマミ
※少しずつ音量を上げて適切な音になるように調整してください。

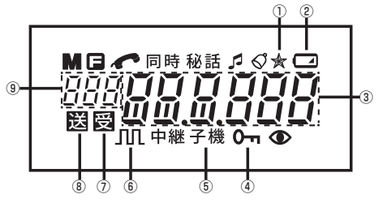
有線式オプション端子
別売有線式オプションを接続することができます。
※オプションのプラグを挿入したら時計回りに止まるまで数回ねじ込んでください。

ディスプレイ

SETキー
セットモードに入ることができます。

FUNCキー
長押しでキーロック設定/解除ができます。

ディスプレイ



①	ノイズキャンセラー設定時に点灯します
②	電源電圧が低下（減電池）すると点灯、点滅します
③	セットモード項目を表示します
④	キーロック中に点灯します
⑤	子機（DJ-R531）の場合、点灯します
⑥	Bluetoothやペアリング時に点灯、点滅します
⑦	受信中に点灯します　※親機(DJ-R531P)は常時点灯します
⑧	送信中に点灯します
⑨	各セットモードの設定値を表示します

※リセットの全点灯時に一部、通常使用では表示されないアイコンが表示されます。

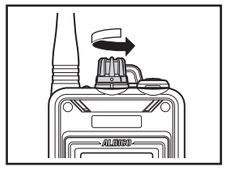
基本操作

ここでは基本的な操作と同時通話だけを簡単に説明しています。本書に記載していないセットモードや注意点を含む詳細取扱説明書を下記に掲載しています。

右図または本機背面の二次元コードをスマートフォンで読み取ることで取扱説明書をダウンロードできます。
https://alinco-denshi.com/item/uploads/DJ-R531_manual/

■ キー操作
「キーを押す」はしっかり押した後、すぐに放すことを指します。
「キーを長押し」 は約2秒間押し続けることを指します。

■ 電源を入れる / 音量を調整する
電源/音量ツマミを時計方向に回すと電源が入り、ディスプレイに「dJR531」と表示されます。さらに回すと音量が上がります。初めての場合はツマミの目盛を３程度にしておいて通話開始時に調整します。
電源を切る場合は、ツマミを目盛（●）まで反時計方向に回すと表示が消えます。



注意 有線式オプションまたはbluetoothアクセサリーを接続した状態で使用することで音声を聞くことができます。

■ イヤホン断線検知
電源を入れた直後にLEDが赤緑交互点灯し、ディスプレイに「EAr-nG」と表示されたらイヤホン断線検知の異常をお知らせしています。プラグが緩んでいないか接続状態を確認し、直らないときは新しいものにお取替えください。

■ 子機を親機に登録する
通話を始める前に親機-子機間の登録を行います。登録を行わないと通話できません。１台の親機(DJ-R531P)に８台までの子機(DJ-R531)が登録できます。

注意 新しい子機を追加登録するときは、親機に登録済の全ての子機の電源を切ってから操作してください。登録済の子機の電源が入っていると正しく動作しません。

手順
①親機、子機ともに待ち受け画面で「SET」キーを押し、セットモードに入ります。
②親機、子機ともにセットモード1の「REGiSt」が「on」になっているのを確認し、「PTT」キーを長押しします。
③親機、子機ともに「REG on」と表示され、LEDが緑黄交互点灯します。
子機のディスプレイに「dJR531」と表示され、LEDが青色点灯すると子機の登録完了です。子機のディスプレイに「🔑」が点灯し自動的にキーロックがかかります。子機の登録完了後、親機と子機の電源を切ってください。再度電源を入れると、親機のディスプレイに「🔑」が点灯し自動的にキーロックがかかります。
登録に失敗すると、ディスプレイに「REG Err」と表示された後、「dJR531」と表示されます。登録をやり直したり解除するときは「オールリセット」する必要があります。後述の「リセット（初期化）」をご覧ください。

■ 通話操作
1台の親機と最多8台までの子機間で同時通話ができます。
必ずイヤホンマイクやヘッドセットが必要です。スピーカーマイクはハウリングするため使えません。全ての親機・子機で前述③の登録完了後、以下の操作を行ってください。
①親機、子機ともに電源を入れます。子機が登録された親機を探します。親機を検知すると、「ピ」と鳴り、LEDが青色点灯します。
②子機のLEDが緑色点灯し、ディスプレイに「 送 」と表示されると、受信ができます。自動で接続できないときはセットモード2の自動接続「AtCnCt」の設定値が「on」になっているか確認してください。
③親機の検知が終わったら親機、子機関係なく、「PTT」キーを押すとLEDが黄色点灯し、ディスプレイに「 送 」が表示され、同時通話できます。
通話できるエリアは親機を中心とした円周で、河川敷のような障害物の無い平地で300m、市街地の現場では100m程度です。親機から離れると通話が途切れますが、近づけば自動復帰します。
④通話から離れるときは「PTT」キーを長押しします。ディスプレイの「 送 」が消え、送信が止まります。親機が動作中であれば、再度「PTT」キーを押すと通話に戻れます。親機が「PTT」キーをオフにしていても子機は通話を続けることができます。
⑤子機が通話を終わるには電源を切ります。親機が電源を切ると全体の通話ができなくなります。親機の電源を入れなおすと自動で子機は復帰しますが、親機は全体の通話が終わるまで電源を切らないことをおすすめします。電源を切ると親機、子機ともに「PTT」キーは自動でオフになります。新しく通話するときはこの項の①から操作できます。登録操作は不要です。

注意
- トンネルや地下通路のような狭い反響空間ではハウリングが起きたり、電波伝搬上の理由で近距離でも通話できないことがあります。
- 複数の通話グループでお使いになるときは、親子の初期登録操作はグループごとに行ってください。電波の届くところで同時に操作するとお互いに間違った登録をすることになり、オールリセットして初めから全てやり直しになります。
- デジタルコードレス電話と同じで、初期登録完了後であれば、他人に聞かれる心配はありませんが、初期登録時に他人が子機登録をすると、通話を聞かれてしまいます。
本製品は親機が子機を８台まで初期登録できる仕様ですが、仮に６台しか登録できないような現象が生じた場合、少なくとも誰かが２台以上、誤登録しています。本機は親機を含めて「何台登録されたか」を表示する機能はありません。

LED表示について

親機（DJ-R531P）

LED表示	状態
緑色点灯	受信状態、待受状態
黄色点灯	送受信状態
青色点滅	登録準備中
緑黄交互点灯	登録中
赤黄交互点灯	オールリセット中
赤緑交互点灯	イヤホン断線、ペアリングモード

子機（DJ-R531）

LED表示	状態
青色点滅	通話未接続状態
青色点灯	通話接続前状態
緑色点灯	受信状態、待受状態
黄色点灯	送受信状態
緑黄交互点灯	登録中
赤黄交互点灯	オールリセット中
赤緑交互点灯	イヤホン断線、ペアリングモード

セットモード

無線機の機能設定などをカスタマイズする操作です。

①「SET」キーを押し、セットモードに入ります。
②「SET」キーを押すと昇順に、「FUNC」キーを押すと降順にセットモード項目が切り替わります。「▼」キーまたは「▲」キーを押して設定値を切り替えます。「SET」キーを押すと続けて別の項目の設定ができます。
③設定が終わったら「PTT」キーを押して待受状態に戻ります。

	機能	表示	初期値	設定値
1	親機-子機間登録	REGiSt	on	onのみ
2	自動接続（子機のみ）	AtCnCt	on	on/oFF
3	PTTホールド	PttHLd	on	on/At/oFF
4	オートパワーオフ	APo	oFF	30～120/oFF
5	ランプ（ディスプレイ照明）	LAmP	5	on/5/oFF
6	LED	LEd	on	on/oFF
7	BEEP	Sd-voL	3	1～5
8	操作音量	Sound	bP	bP/Gdc/ALL/oFF
9	コールバック	CALLb	Lo	Lo/Hi
10	キーロック時間	Loc	2	1～3
11	電池電圧表示	O.OO	-	-
12	イヤホン断線検知	EAr-C	on	on/oFF
13	ノイズキャンセラー	noiSE	on	on/oFF
14	Bluetooth	bLt	oFF	on/oFF
15	Bluetooth機器音量	bLtvoL	16	voL/0～31
16	マイク音量(マイクゲイン)	m-GAin	5	1～7
17	減電池アラーム	bAtt-C	oFF	5～60/oFF
18	本体PTT/マイク設定	inSPtt	oFF	out/ALL/oFF
19	メモ番号割当	numbEr	非表示	非表示/1～9

セットモードの詳しい説明は詳細取扱説明書をご覧ください。

■ Bluetooth機能
本機のBluetooth機能に対応するアクセサリーを使って通話ができます。
●1台の無線機に最大8台まで異なるアクセサリーを登録しておくことができます。8台を超えるとペアリング情報が古いものから自動で削除されます。
●セットモード15 の「bLtvoL」を「voL」に設定するとアクセサリーの音量は本機の音量ツマミでも調整できるようになります。
●Bluetooth 方式と有線式オプション（イヤホンマイクなど）を併用すると、両方から音声がでます。どちらかの音声を消す設定はありません。
●弊社純正品以外のマイクの動作確認や保証はできません。

1. 本機をペアリングモードにする
①「SET」キーを押し、セットモードに入ります。
②「SET」キーを押すと次項目に、「FUNC」キーを押すと前項目に移ります。
③セットモード14 の「bLt」 を「▲」キーを押して「on」にします。その後「PTT」キーで確定します。待受画面に「⎍」アイコンが点滅します。
※2台目以降 ペアリングする場合、④をお読みください。
④上記③の後に一度電源を切り、LEDが赤緑交互点灯するまで「▼」キーと「SET」キーを同時に押し続けながら電源を入れます。

2. アクセサリーをペアリングモードにする
操作の前にアクセサリーの取扱説明書もお読みください。
① LEDが橙色に点灯後、緑点滅するまで「電源」キーを長押しします。
②「ペアリング中です」と音声が聞こえたら「電源」キーを放します。
※弊社製のアクセサリーを初めてご使用になるときは電源を入れるだけで、ペアリングモードになります。またペアリングできる無線機が見つからない状態が５分つづくと、自動的にアクセサリーの電源が切れます。

3. 本機とアクセサリーをペアリングする
上記の操作で本機とアクセサリーが共にペアリングモードになると自動で接続します。接続できたら「⎍」アイコンが点灯します。

注意
- セットモード15 の「bLtvoL」を「voL」に設定するとアクセサリーの音量は本機の電源/音量ツマミでも調整できるようになります。適切な音量に合わせてください。
- セットモード15 の「bLtvoL」の設定値が「voL」の時に本機の音量が極端に小さい、または極端に大きい場合、アクセサリーの音量では適切に調整できなくなるため、ご注意ください。
- 受信中に受信音の大きさが変化することがあります。一定のビープ音や強い信号を受信すると、強弱を一定レベルにして聞きやすくするためです。
- 一度ペアリングしたアクセサリーとはそれ以降毎回ペアリングする必要はありません。
- 複数台同時接続はできません。

■ キーロック（誤操作防止）
誤操作を防止する機能です。
「FUNC」キーを長押しします。「🔑」が点灯すると設定完了です。
再度同じ操作を行うと解除できます。

■ リセット（初期化）
通常リセット
電源を切り、「FUNC」キー押したまま電源を入れ、表示が全点灯したら指を離すと各種機能の設定を初期値に戻せます。登録とペアリング情報は保持します。

オールリセット ※管理者用です。使用者が勝手に行うと通信できなくなります。
電源を切り、「▼」キー、「▲」キー、「FUNC」キーを同時に押したまま電源を入れ、表示が全点灯したら指を離します。その後、「RESEt」と表示され、LEDが赤黄交互点灯します。最後に「dJR531」と表示されると登録、ペアリング情報まで含めて工場出荷状態にリセットされます。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。	バッテリーを取付けていない。	バッテリーを正しく取付けてください。
	バッテリーが消耗している。	充電するか新しい電池に交換してください。
音が出ない。	音量が出ない。	オプション類を正しく接続してください。
受信できない。	相手と距離が離れている。	通信距離を目安に近づいてください。
通話できない。	親機の電源が入っていない。	親機の電源を入れてください。
	子機を親機に登録していない。	子機を親機に登録してください。
充電できない。	端子が汚れている。	端子の汚れをふき取ってください。
	バッテリーが劣化している。	新しいバッテリーに交換してください。

＊バッテリーの残りが少ないとまれに誤作動することがあります。充電してください。本機を分解すると技術基準適合から外れ、それを使うと不法無線局となり処罰されます。メンテナンスや修理は販売店か弊社サービスセンターにご相談ください。

生産終了品に対する保守年限

生産終了後も5年間は補修用部品を在庫しています。不測の事態で欠品した場合には保守ができなくなることがありますのでご了承ください。

オプション一覧

EBP-114	リチウムイオンバッテリー	EME-32A	イヤホンマイク　カナル型
EDH-46	乾電池ケース（単三形アルカリ3本用）	EME-48A	イヤホンマイク　耳かけ型
EDC-331A	シングル充電器（ACアダプター付属）	EME-62A	咽喉イヤホンマイク　カナル型
EDC-331R	シングル連結充電スタンド	EME-73A	ヘルメット用ヘッドセット
EDC-287	ACアダプター（シングル保守用）	EME-80BMA	Bluetooth イヤホンマイク
EDC-162	ACアダプター（連結充電用）	EHC-40	ハードケース
EME-58	ストレートコードイヤホン　耳かけ型		
EME-60	ツイストコードイヤホン　カナル型		

＊ ベルトクリップはスペア部品をご用意しています。販売店にご相談ください。
＊ 通話時にはイヤホンマイクかイヤホンが必要です。スピーカーマイクは使用できません。

定格

送受信周波数	1,885.248～1,904.256MHz
電波形式	F1D, F1E, G1D, G1E
送信出力	0.1W
受信感度	−93dBm（BER1%）
音声出力	80mW以上（８Ω負荷）
通信方式	複信
電源電圧	リチウムイオンバッテリー　3.6V/3120mAh（別売 EBP-114）
	単三形アルカリ乾電池　　4.5V　　（別売 EDH-46）
消費電流	約 150mA以下
動作温度範囲	−10℃～+50℃（充電：+10℃～+40℃）
寸法	幅 56.5mm × 高さ 187mm × 奥行 31.0mm（突起物含む）
質量	約184g（EBP-114 装着時）
	約220g（EDH-46 装着時 単三形アルカリ乾電池含む）
使用時間の目安	リチウムイオンバッテリー：　約 19時間
	単三形アルカリ乾電池　　：　約 15時間

●仕様、定格は予告なく変更する場合があります。
●本書の説明用イラストは実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。本書の内容を無断転載することは禁止されています。
●乱丁、落丁はお取り替えいたします。

Radio Communication Solutions

株式会社ジャパンエニックス

JAPAN ENIX CO.,LTD.

□ 東 京 本 社　03-5715-2351
□ 関 西 支 店　06-6583-7700
□ 名古屋営業所　052-908-1440
□ 九 州 営 業 所　092-432-9077
□ 札 幌 営 業 所　011-733-6120
□ 仙 台 営 業 所　022-290-9381

◀各住所は
こちらから

https://www.jenix.co.jp/